

## 富士の巻狩の地 裾野

裾野は、源頼朝が鎌倉幕府の長「鎌倉殿」として富士の巻狩を行ったゆかりの地です。市内に数多く残る頼朝や富士の巻狩にまつわる旧跡、伝承の代表的なものを紹介します。

また、現在放送中の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」(NHK)の撮影が、令和3年7月、12月、令和4年3月と市内(各所)で行われました。



### 富士の巻狩

源頼朝が建久4年(1193)5月8日に「富士の巻狩」を藍沢(御殿場市)で始め、15日夜は豪族葛山氏の館に一泊。翌日から十里木集落付近に本陣を置いて数日間狩りをしています。巻狩とは、周囲に多くの勢子を配置し、囲いを狭めながら獲物を狩り出させ、追い詰めて射するという大規模な狩りのことです。頼朝が市全域を含む富士山麓で行った大規模な狩りが、歴史的にも有名な「富士の巻狩」です。

頼朝の巻狩は、軍事訓練の要素と共に征夷大將軍となって武家社会の頂点に立った政治的な権勢を誇示すものでもありました。

注)勢子:狩りで声をあげ鳴り物を鳴らして鳥獣を狩り出し、よそへ逃げるのを防ぐ役の人夫。

### 頼朝井戸の森

頼朝が巻狩の際に喉を潤したとされる遊水地「頼朝井戸の森」。落葉樹林を主とした原生林で、ブナをはじめ高木が多いため、樹林が地下水を保持。前面の低地は湿地帯となり窪地に湧き出る泉は涸れることはなかったそうです。

#### 伝説「頼朝の盃」

頼朝は十里木の湧水のおいしさを忘れられず巻狩の際に幾度となくこの地を訪れました。水がいつまでも枯れないようにと持ってきた大杯を水の底に沈めると水の量が少しずつ増え、そこは池のように。沈められたはずの大杯は時折浮かび上がり、富士の噴火や大地震など天変地異を地域の人に知らせたと伝えられています。



### 弁当場

巻狩は富士山須山口登山道に沿って行われました。富士山の構成上山中には、川も遊水地もほとんどありません。「弁当場」は、山麓における貴重な遊水地のひとつです。富士の巻狩では数万といわれる将兵の幕営地で炊事の基地となり、別名「米とぎ場」とも呼ばれていました。





こしきりづか

## 腰切塚

富士山須山口登山道沿いの山々、黒塚「黒」・赤塚「赤」・浅黄塚「黄」・平塚「白」・鐘子山「青」に五色の吹流しを立てて勢子が配置されました。勢子たちは頼朝が陣取っている山に向かって、吹き流しを合図に鳥や獣を追い立てました。頼朝が陣取った山が腰切塚です。追い立てられた獣がそのまま頼朝の陣地に突っ込み頼朝に危険が及ばないように、陣取っている山裾に腰を巻くように堀を掘ったため、「腰切塚」と呼ばれるようになりました。

出典：「裾野市史」「須山地区の文化財めぐり」



## 歴史を知り、地域の魅力を活力に



市文化財保護審議委員  
田口 建一さん

市内の歴史に触れ、自分たちの暮すまちに愛着を持っていただきたいと「楽しい郷土史だより」を年1回発行しています。令和3年12月は大河ドラマにちなんで、鎌倉時代を特集し、例年より3ヶ月ほど早く発行しました。



下和田の歴史を伝える会  
杉本 明義さん

下和田地区は、鎌倉殿を支えた13人の御家人のひとり和田義盛にまつわる話が残ります。巻狩のとき、頼朝の夢に出たと伝えられる不動明王を祀る飯盛山が下和田に有る由縁かもしれません。歴史ファンが訪れる地域になればと思います。



## 市内での撮影風景

桃園地内 令和3年7月



富沢地内 令和3年12月



## NHK「のぞき見ドキュメント100カメ」

『鎌倉殿の100人! ~大河ドラマの舞台裏をのぞき見!~』

放送予定 6月14日(火) 23時~23時29分

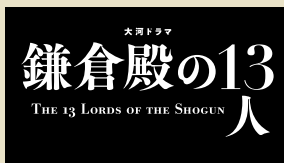
ひとつの“場”に100台の小型カメラを設置し、そこで生きる人々を観察するドキュメンタリー。約100人のスタッフと、100人規模の地元エキストラが参加した「富士の巻狩」の撮影に密着。

## NHK「100カメ」ディレクター 大木 莉衣さん

華やかな現場を陰で支えるスタッフたちの奮闘を100台のカメラが捉えました。雨、雪、強風、思い通りにならない動物…ドラマの裏にあるもうひとつのドラマをお楽しみください!



NHK「100カメ」スタッフの皆さん



華やかな源平合戦、誕生する鎌倉幕府、権力を巡る男たち女たちの駆け引き—源頼朝にすべてを学び、武士の世を盤石にした男、二代執権・北条義時。野心とは無縁だった若者は、いかにして武士の頂点に上り詰めたのか。三谷幸喜が贈る予測不能エンターテインメント! 放送中 令和4年1月~12月(NHK)